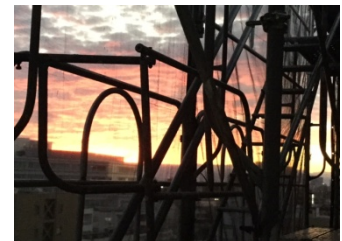


## 自宅 UR さんぽ

写真上 2 枚は、自宅 UR の夜景である。暗闇に「8」という数字が浮かんで見える。エントランスをはじめ、昼間と違って、なかなか味わいがある。ここに住んで、もう 20 年になる。公団「星ヶ丘団地」の建て替えが始まった頃で、あちこち工事中だった。とある「事情」により、東山の中古マンションから引っ越し、UR 賃貸に長らく沈滞してきた。



ところで、「星ヶ丘」とは星にいちばん近く、輝く星が見える、ということの名が付いたらしい。確かに、小高い丘に位置して、眺めはよい。残念ながら、今は輝く星はそれほど見えないが。



その下の写真のように、今年の秋は黒い幕ですっぽり覆われていた。

「団地リニューアル作戦」であり、数ヶ月にわたり足場を組んで、補修作業が行われた。工事の騒音と異臭に悩まされた。



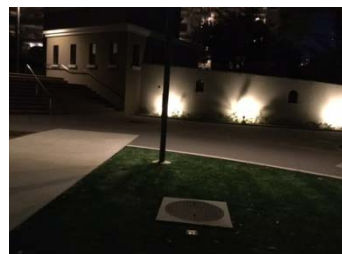
猛暑のときは、窓も開けられず、ベランダからの眺望も楽しめなかった。それで今年は例年以上に眺望を堪能して、写真に撮って、フェイスブックで発信している。

でも足場からの夕焼けも、こうして写真で見ると、なんだか味わいがある。ベランダや階段、玄関などの足場は、10月末には外された。黒い幕と足場が取り払われた建物は、見違えるように美しくなった。



その後、自宅近くの「広場」と周辺の改修が始まった。

お気に入り広場を上層階から撮ると、写真のように半円形である。昼間は、子どもたちが元気よく、飛び回っている。子どもらしい、半円形の広場の使い方を見ているのも楽しい。



そして、夜の広場も幻想的だ。誰もいない広場に腰かけ、ぼっと星空を見ているだけで心が休まる。つい、自宅 UR「さんぽ」を写真で語りたくなった。

(2017年11月10日)